

科目名	化学・工業英語	科目コード 41470
-----	---------	----------------

学科名・学年	物質工学科 4 学年 (プログラム 1 学年)	担当教員	柴田 勝・鈴木秋弘 (物質)		
単位数	1 単位・必履修	開講期間	前期	時間数	30 時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(26), 演習(0) 実験(0), その他(4)
教科書	使用しない				
補助教材	必要資料を配付				
参考書					

A 科目の概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の科学技術はまず英語によって公表されることがほとんどである。したがって、それらを知ろうとすると、英語が不可欠となる。本授業では、3 年生で学んだ事項を基に、実際の論文等を読むことによって、化学英語に親しむことを目的とする</li> </ul>	
B 到達目標	
化学技術英単語に慣れ親しむ。 化学英語特有の表現を理解する。 図表に関する英語表現、数式の読み方、元素記号の発音を身に付ける	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(D) [D-1]
D 履修上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般の英語の知識と 3 年生で学んだ講義内容も不可欠である。また、普段から意識して英語論文などに触れる機会を自らもつことを望む。</li> </ul> クラスを 2 グループに分け、柴田と鈴木が 7 週ずつ担当する。9 週目以後担当を交代する。	
E 評価基準	
化学技術英単語に関する設問で理解の程度を評価する。(40%) 化学英語特有の表現に関する設問で理解の程度を評価する。(40%) 図表に関する英語表現、数式の読み方、元素記号の発音に関する設問で理解の程度を評価する。(20%)	
定期試験【60%】(前期中間( ), 前期末(60%), 後期中間( ), 後期末( )), その他の試験【 %】、レポート【40%】(課題レポート)、その他【 %】の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。それぞれの担当の平均で 60 点以上を合格点とする。	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	ガイダンス	シラバス配付
2	化学英文の訳し方 1	柴田
3	化学英文の訳し方 2	
4	化学英文の訳し方 3	
5	化学英文の訳し方 4	
6	化学英文の訳し方 5	
7	試験	
8	試験の解説	試験の返却
9	元素名の英語の発音、実験室内の英語表現	鈴木
10	数式の読み方、図表の読み方	
11	化学論文の必須語と用例 1	
12	化学論文の必須語と用例 2	
13	化学論文の必須語と用例 3	
14	試験	
15	試験の解説	試験の返却
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		